

プライム市場上場会社向け 気候変動対応セミナー

昨今、上場企業におけるサステナビリティ開示の実質的な義務化が加速しており、コーポレートガバナンス・コード補充原則3-1③では、プライム市場上場会社に対して「TCFDまたはそれと同等の枠組みに基づく開示」を求められています。このような状況を踏まえ、宝印刷では1月16日～20日の間、「プライム市場上場会社向け 気候変動対応セミナー」を配信いたしました。

2022年11月の企業内容等の開示に関する内閣府令の改正案では、サステナビリティに関する取組みの欄が新設されることとなりました。業種によって開示の方向性が異なることから、自社がどこまでの水準で開示すべきか、またどのような取組みから進めていくべきか頭を悩まされているプライム市場上場企業のご担当者様向けに、本セミナーは開催しております。

今回の宝印刷株式会社とアスエネ株式会社による協同セミナーでは、宝印刷グループのシンクタンクである宝印刷D&IR研究所からはESG/統合報告研究室の花家可菜子研究員が、アスエネ株式会社からは共同創業者兼COO 岩田 圭弘様が登壇し、

1部. 気候変動開示のトレンドと企業価値向上に資するESGディスクロージャー

2部. 企業価値向上につなげるTCFD実践
というプログラムで配信しました。

1部では、花家研究員より、機関投資家の価値観を踏まえ、企業に求められるのは将来的に財務成果につながる非財務情報の開示であることやTCFDとISSBサステナビリティ開示基準についてポイントを解説しました。後半では気候変動開示のトレンドとして統合報告書と有価証券報告の各媒体におけるTCFDの記載状況について調査結果を報告しました。

2部では、岩田氏より、TCFD開示について求められる背景や企業の賛同状況、フレームワークなどについて事例を踏まえながら説明いただき、後半では実務にあたり、脱炭素経営を進める上で温室効果ガスの可視化の重要性と具体的なアプローチをどのように進めたらよいかを解説いただきました。

ご多忙のなかご視聴いただいた皆様にはこの場を借りて御礼申し上げます。宝印刷D&IR研究所では、今後もこうした制度開示・任意開示の垣根を越えて有益な情報を得られるセミナーを様々な手段を通じて開催してまいります。

●お詫び

1月13日にWEBセミナーとして開催いたしました「プライム市場上場会社向け 気候変動対応セミナー」におきまして、音声流れないという事故が発生いたしました。

お申込みいただいた皆さまに多大なるご迷惑をおかけしましたこと、心よりお詫び申し上げます。なお、1月16日～20日の間にオンデマンド配信として同内容のセミナーを配信いたしました。